

ウクライナの人道支援団体を支援する募金のお願い

令和4年3月22日

日本ソーシャルワーク教育学校連盟
会員校の皆さま、関係者の皆さま

一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟
会長 白澤政和

ロシア政府のウクライナへの軍事侵攻により、ウクライナでは多くの一般の人々が犠牲になっています。同時に、多くの市民がポーランドなどへ避難し、難民となっています。こうした極めて非人道的なロシア政府の行為に対して、日本ソーシャルワーク教育学校連盟は、ロシア政府に直ちに戦争を終結すべく、抗議の声明を出しました。

併せて、苦難に陥っているウクライナの人々を支援するため、日本ソーシャルワーク教育学校連盟では、ウクライナで人道支援を行っている団体に対して支援金を送ります。つきましては、会員校の皆さまや関係者の皆さまに支援金の募集へのご協力をお願いすることといたしました。

国際ソーシャルワーク教育学校連盟、欧州および東欧小地域ソーシャルワーク教育学校連盟との連携のもと、国立キエフ大学ソーシャルワーク学部長のOksana Boyko教授より推薦頂いた、ウクライナ国内で人道支援にあたっている以下の2団体に、折半して支援金を送りたいと考えています。

① 団体名：Slovjanske Sertse (スラブハート慈善財団)

ロシア軍の爆撃を受けたルガンスク州から避難してきた国内避難民へ、避難所や人道支援を手配しています。 URL <https://www.slavicheart.org/?lang=en> フェイスブック <https://www.facebook.com/slavicheart2014>

② 団体名：Centre for Mutual Help Let's Save Ukraine (セーブウクライナ相互援助センター)

ウクライナ戦争で爆撃や砲撃が行われたすべての地域から、子どもや孤児、障がいを持つ子どもたちを持つ数千の家族を安全に避難させる役割を担っています。

URL <https://helpua.center/> フェイスブック <https://www.facebook.com/SaveUkraine.center>

つきましては、皆様におかれましては、下記要領で支援金の送金をご検討いただけますと幸いです。

記

1. 募集期間 2022年3月22日(火)～5月31日(火)

2. 方法 次の金融機関・口座にお振込みください。

[金融機関] 三菱UFJ銀行 [支店名] 四谷支店 (店番 051)

[口座区分] 普通 [口座番号] 0099180

[口座名義] 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 災害義援金口

イッパンシャダンハウジン ニホンソーシャルワークガッコウレンメイ サイガイギエンキンゲチ

恐縮ですが、振込手数料は別途ご負担ください。

3. その他

(1) 匿名(匿名希望)の場合を除いて、支援金をお寄せいただいた個人・団体の氏名・名称(カタカナ)は日本ソーシャルワーク教育学校連盟のウェブサイトに適宜掲載させていただきます。お振込みをいただきましたら、以下のフォームから掲載名(又は匿名希望の旨)と振込日と寄付金額をお知らせください。フォームに入力のない場合は、匿名として扱います。

★フォーム：<https://pro.form-mailer.jp/fms/818bc388251629>

(2) 領収書は振込依頼書にて代えさせていただきます。寄付金控除等はありません。

(3) 今後の状況により、ウクライナの団体への寄付ができなくなった場合は、国際ソーシャルワーク教育学校連盟、欧州および東欧小地域ソーシャルワーク教育学校連盟と連携等を行い、ソ教連で適宜支援先を決定します。その場合はソ教連HPでお知らせします

以上

<問い合わせ> 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟事務局(担当：杉本)

〒108-0075 東京都港区港南4-7-8 都漁連水産会館5階

TEL:03-5495-7242 FAX:03-5495-7219 E-mail:jimukyoku@jaswe.jp URL:<http://www.jaswe.jp/>

支援金の流れ



支援先団体

ウクライナ国内で、もともと現場レベルの支援を行っており、今般の侵攻に際して人道支援にあたっている以下の2団体に支援金を送ります。Facebookには現地の写真も掲載されていますのでご覧ください。

Sloujanske Sertse

(スラブハート慈善財団)



ロシア軍の爆撃を受けたルガンスク州から避難してきた国内避難民へ避難所や人道支援を手配しています。

<https://www.slavicheart.org/>

<https://www.facebook.com/slavicheart2014>

Centre for Mutual Help Let's Save Ukraine

(セーブウクライナ相互援助センター)



ウクライナ戦争で爆撃や砲撃が行われたすべての地域から、子どもや孤児、障がいを持つ子どもたちを持つ数千の家族を安全に避難させる役割を担っています。

<https://helpua.center/>

<https://www.facebook.com/SaveUkraine.center>